

## マイコトキシコロジー国際シンポジウム 2016 (ISMICO 2016)の案内

主 催：日本マイコトキシン学会

後 援：内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省

わが国は、多くの食糧、食品類を、海外、特に、近隣のアジア諸国に依存しており、近年、その傾向は、さらに強まっています。一方、国際的な食の安全への関心の高まりはアジアの途上国にも及んでおり、カビ毒（マイコトキシン）による健康被害の危険性への認識も進んでいます。そこで、日本マイコトキシン学会は、アジア諸国や欧米からマイコトキシン研究者を集め、国際シンポジウム (ISMICO 2016) を開催します。この機会にアジア諸国および最新のマイコトキシン情報を是非集めていただき、今後の研究等に活かしていただければ幸いです。

会 期：平成28年11月30日（水）～12月2日（金）

会 場：東京大学弥生講堂 (<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/>)

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内 Tel. : 03-5841-8205

実行委員長：小西良子（麻布大学）

プログラム：詳細は ISMICO 2016 の HP(<http://jsmyco.org/ismico2016/index.html>)に掲載してあります

### ・ Keynote 講演

熊谷 進 (食品安全委員会), Antonio Logrieco (イタリア、国際マイコトキシン学会会長)

- ・セッション 1: カビ毒産生菌の分布と分子遺伝学
- ・セッション 2: カビ毒分析法とアジア諸国のカビ毒汚染実態
- ・分析セッション：分析機器、デバイス関連企業の最新情報発表
- ・ポスター発表(2日間)

[12月 2日]

- ・セッション 3: カビ毒の暴露とリスク評価
- ・セッション 4: 毒性とそのメカニズム
- ・セッション 5: カビ毒産生メカニズムとその制御
- ・Farewell Party (東京大学山上会館)

参加費：一般 30,000 円 (学生 5,000 円)

この広告をご覧になったことを記載して、メールで申し込んでください。

メールアドレス：y-konishi アットマーク azabu-u.ac.jp